

「平成二十七年九月関東・東北豪雨」から一年

企画展

水害を

考える



推定浸水範囲
(推定浸水面積は全体で約40km²)

	9月16日 10:20時点
	9月15日 10:30時点
	9月14日 9:30時点
	9月13日 10:40時点
	9月11日 13:00時点
	9月10日 18:00時点
	最大浸水範囲

入場無料

〈開催期間〉2016年
9月16日(金)から
12月25日(日)まで
 〈開館時間〉9時30分から16時30分
 〈休館日〉毎週月曜日
 (ただし、月曜日が祝日のときは翌日火曜日が休館)
 ※10月29日(土)・30日(日)臨時休館

地図と測量の科学館
 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内
 問い合わせ: TEL 029-864-1872
 URL <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/index.html>

交通案内

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場(建築研究所・下妻駅行)乗車、約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス……研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス(土日・祝日運行)
- ・<http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>
- ・無料駐車場あり(大型可)

国土交通省国土地理院
 URL <http://www.gsi.go.jp>



企画展

水害を考える

平成27年9月10日、数日前からの大雨により茨城県常総市にある鬼怒川左岸の堤防が決壊し、鬼怒川と小貝川に挟まれた広範囲が水没し被害を受けました。

私たちはこれまでも、伊勢湾台風やカスリーン台風による水害、小貝川水害、那珂川水害など、大きな被害を受けてきました。

私たちが、安全にそして安心して暮らしていける社会を築くためには、まずは、一人ひとりが自然災害に関する意識を高めていただくことが最も重要だと思います。

特に洪水・氾濫・土砂災害などの水害は、地形ととても深い関係があります。水害による被害を最小限にするためにも、地形やその土地の成り立ちを知っておくことが重要です。

今回の企画展は、過去に発生した水害などを通して、水害を分類し、被害が多く発生する地形や土地の特性などを知っていただき、そこから私たち一人ひとりが、日頃から「水害を考え、意識し、そして水害から備える」ことを目的として開催するものです。

今後、私たちの生活を水害から守るきっかけになれば幸いです。

<<おもな展示の内容>>

1. 平成27年9月関東・東北豪雨における「常総市の水害」
2. 水害と地形
3. 過去の主な水害
4. 水害発生の要因
5. 防災への取組
6. 災害における報告書や調査図、標高段彩図、地盤高図など